

田和山の森から

社会貢献活動に協力

松江保護観察所から社会貢献活動への協力依頼があり、去る6月13日（木）、田和山の学習の森で奉仕作業を行いました。本会から竹下会長他3名が参加し、保護観察対象者2名と、保護観察官、保護司、更生保護女性会員、BBS会委員が加わり、水道路上側Cゾーンの草刈りを行いました。作業は10時から正午少し前まで、鎌や刈り払い機で生い茂った夏草をきれいに刈り取って終了しました。後日、保護観察所長から礼状が届きました。



貢献活動の草刈り



大木の切断

伐採木の切断作業

伐採した大木を縦割りに切断して、休憩所の長椅子の補修用に利用することにしました。製材所でやれば簡単ですが、森の中での手作業はなかなか大変でした。

スイセンの栽培

洋の東西を問わず愛されるスイセンですが、その数は1万種類以上と言われます。田和山の森にも水道路の上や市立病院側にきれいに咲くようになりましたが、もう少し増やしたいと思います。

スイセンの和名は雪中花（せきちゅうか）と言い、ヒガンバナ科、スイセン属で耐寒性球根です。7～8月中に掘上げ、分球します。掘上げた球根は土を落として風通しの良い日陰で保存（ネットに入れての保存がよい）します。植付時期（地植え）は10～11月、球根は柔らかいのは除き、しまったものを選びます。植える間隔は球根2～3個分、深さも球根2～3個分位が良いと言われます。植えつけ後、水をたっぷりやりましょう。スイセンは有毒植物ですので気を付けたいものです。

田和山の樹木 第2回 (竹下)

第2回目に紹介するのはイヌガヤです。初回に紹介したモミと今回のイヌガヤの2種が田和山に元々あった針葉樹です。（後の針葉樹は、アカマツ以外は全て人の手によって持ち込まれたもの）葉の形を見ると、モミと極めてよく似ています。（写真1がモミ2がイヌガヤ）その違いは葉の柔らかさと葉の先端部分で区別することが可能です。葉は柔らかく先端部はとがっている、モミの葉は堅く先端部は二つに分かれ2本の針状です。

しかし、イヌガヤの種子は、その名の通りかやの実とよく似ており、生息範囲を拡げるためには、動物の手を借りるしか方法がありません。そのため田和山ではモミと違い2本しか確認できません。また目立たないためか林内整理をしているときに伐られることから現在は大きくなっていません。田和山では隠れた珍木です。



イヌガヤ



今後の活動開始予定

7月5日（金）13：30、12日（金）13：30、20日（土）9：00、26日（金）13：30、
8月2日（金）9：00、9日（金）9：00、17日（土）休み、23日（金）9：00、30日（金）9：00、
9月6日（金）9：00、13日（金）9：00、21日（土）9：00、27日（金）9：00

※8・9月は暑さ対策で午前中作業、8月17日は盆休みです。